

令和7年度 第8回末野原地域会議 会議録

- 日時 令和8年1月15日（木） 午後7時から8時50分
- 場所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委員 : 15名（欠席1名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、伊藤担当長、永田主査

■次第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 令和7年度第7回地域会議の会議録について
- 3 報告事項 区長会・活動報告会について
- 4 協議事項 第10期地域会議活動の振り返りについて
- 5 その他
 - (1) 上郷地域バスについて
 - (2) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略

- 2 令和7年度第7回地域会議の会議録について

・第7回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

- 3 報告事項 区長会・活動報告会について

・事務局から、1月14日（水）に末野原地区区長会場で会長、副会長、事務局で活動報告を行ったことを委員に報告した。

- 4 協議事項 第10期地域会議活動の振り返りについて

・各委員の事前のアンケートに基づき改善点として挙げた3つの観点について意見交換、振り返りを行った。

①テーマの絞り方 ②協議進行の改善 ③地域会議の役割

・詳細については、次項【意見】に記載。

【次回の地域会議の開催について】

・2月19日（木）の地域会議については、協議事項がないことから中止とし、次回は3月19日（木）に開催する。

- 4 その他

事務局から、次の事項について報告・連絡した。

- (1) 第11期地域会議委員の選考について
- (2) 次回の地域会議について

- ・ 次回の地域会議について
 とき 3月19日(木) 午後7時～9時
 ところ ふれあいホール

【意見】

テーマ	具体的にやりにくかったところ	どのように改善するとよいか
<p>① テーマの絞り方</p>	<p>■ <u>検討過程でわからない(うまくいかない)ことがあった</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に避難場所の詳細を知らなかったため、配置図など先に具体的に知りたかった。 ・ 最近の災害から対応できていない部分の事例を調べて、課題解決していく方がよかった。最近の災害に関するデータが少なかった。 ・ HUG の体験に参加できなかったため、みなさんの意見を聞くだけになってしまった。 ・ すぐに対策につなげて考えてしまった。 <p>■ <u>検討過程(プロセス)に時間かけすぎ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロセスを大事にしすぎた。時間かけすぎた。 ・ 防災→避難所に決めるときは、データを使えていなかった。 ・ 避難所に取り組もうとしたあたりから進みが遅くなった、委員が困惑したように感じた。 ・ 筋道にこだわりすぎたと思う。 <p>■ <u>テーマの選定方法は問題と感じなかった</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマの絞り方は問題なかった。 ・ HUG で実感をともなったので、問題なかった。 ・ テーマを絞るときに、何をすれば地域のためになるのかわからなかったから、今回のテーマの絞り方しかなかったのでは。 ・ やり方は間違っていないと思うが、各委員の「防災」の捉え方が違い、時間がかかった。 <p>■ <u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域会議は市に提言するものだと思ったが、地域に向けた提案になっていて疑問だった。 ・ 10 期はいつまでに何をやらなくてはいけないのかスケジュール感がわかりにくかった。 	<p>■ <u>検討ステップ(進め方)について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度テーマが絞れたら目指す姿を早めに決める。 ・ 最近起きている災害状況をもっと調べる。 ・ 平常時から考えていった方がよかった。 ・ テーマ別で複数チームに分かれてもよかったのではないかな。 <p>■ <u>市への提言について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市への提言を意識することが必要。 <p>■ <u>次期テーマについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の移動手段を考えてもよいと思った。

<p>② 協議進行の改善</p>	<p>■ <u>避難所や自治区運営のことがわからず、議論に深まりが感じられなかった。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自治区運営に携わっていないひとたちで話合っているの、議論が深まらなかった。 ・HUGを含め検討材料を市から提供してもらうことで、イメージしやすくなった。 ・災害対策に関して、自分が無知すぎた。 <p>■ <u>検討過程（プロセス）に時間かけすぎ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールどおりにいかなかった。プロセスに時間かけすぎだった。 ・会議のための会議になっていなかったか。 ・問題解決の手法がよくわからなかった。 <p>■ <u>検討過程でわからない（うまくいかない）ことがあった</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段に走りがちだった。 ・着地点が漠然としていた。 ・ストーリーを明確に。 <p>■ <u>グループワークのデメリット（他者の意見の共有）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークはメリットもあるが、最後のグループ間の情報交換が上手くいってなかったのでは。発表者によってニュアンスが違ってきてしまう。 	<p>■ <u>まずは、地域会議委員が情報を吸収する必要がある</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なデータや資料を事務局から提供してもらう。 <p>■ <u>問題解決の手法を学ぶ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手法を勉強したらよいのでは。 <p>■ <u>グループワーク・全員参加の議論を使い分ける</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時と場合によって、グループにわかれて話をする。
<p>③ 役割</p>	<p>■ <u>実施主体でないため</u></p> <p>■ <u>地域会議で検討したことがどう地域に生かされているのかわからない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践部隊でないことがジレンマだった。 ・交通安全のテーマだったとき、区民にどう影響があったのかわからなかった。 ・みなさんにどうわかってもらうかがわかりにくかった。 ・自治区は人が集まらず、なかなか自治区が動くことはできないというのは事実。 ・9期は提言したが、その後どうなったかわからない。 ・10期は提言できなかったが、自治区へ持ち帰って展開したいと思う。 ・何のために地域会議をやっているのか。少しでも地域のことを良くしようとする組織だと思っているが、自治区に災害対策を担ってもらうには難しいと 	<p>■ <u>他団体と報告、連携する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会議でやってきたことを自治区へ持って帰る。 ・自治区に随時情報提供、理解活動する。 <p>■ <u>組織や参加者層の見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・30代～40代 働き盛りの人に参加してもらう。 ・コミュニティ会議のまちづくり委員会で議論する。 <p>■ <u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組につながらなかった。具体的に動ける内容で取組む。

感じた。

■ 市への提言を行わなかったため

- ・ 各自治区の問題点を持ち寄って、市に提言していくイメージを持っていたが、結果そのイメージと違った。

■ 自治区などの他団体との連携が弱かった

- ・ 自治区を巻き込んでいく必要があった。
- ・ 区長会へのアピールが弱かった。

■ その他

- ・ 随時地域会議の報告を行ってきた。
- ・ 実施主体になれないが、何か自分にできることはないかと考えた。
- ・ 地域会議は市長から委嘱を受け、市に提言が許される組織であり、重要な会議であると認識している。